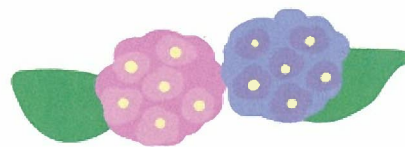


紫竹山コミ協 会報

むらさき



第5号

発行日 平成27年7月1日
発行 紫竹山校区
コミュニティ協議会

「鳥屋野地区」コミュニティ協議会連絡会とは

紫竹山校区コミュニティ協議会

会長 石口 輝雄



5月26日「鳥屋野地区コミュニティ協議会連絡会」の今年度の第一回会長会議が南地域保健

福祉センター会議室で行われ、会長に真島義郎(上所)、副会長に渡部一成(笹口)、阿部洋一(鳥屋野)の新役員を決め今年度の事業計画案を検討した。

そこで「連絡会」を簡単に説明すると、南地区事務所管内にある笹口、紫竹山、女池、上所、鳥屋野、上山の各コミ協の会長が集まって開く会議の事である。

各コミ協が抱えている課題、特に市政に関わる事項と各自治会から提出される要望事項の二つに分類されると思われる。

例えば上所コミ協の持つ市場跡地の活用。笹口、紫竹山コミ協による「駅南中学」の新設。鳥屋野コミ協から出ている「国有地の排水路」の整備。女池、上所コミ協からの「コミュニティセンター」の新設など多様な要望が出されている。

各要望事項ごとに市から一応の回答

が出されているが、実現には程遠い内容が多く、今後とも継続して要望することによって一致している。各自治会から提出される要望は8月31日に締め切れ、内容による要望先が分類される。

信号機の設置は東警察交通課。L型側溝は建設課、背割り排水路の整備は亀田郷土地改良区などになり、11月には市政に関するものは区長へと3カ所の陳情が慣例になっている。

いづれにしても鳥屋野地区コミュニティ連絡会は情報交換の場であり、今後とも必要な「連絡会」であることは確かである。

各自治会の活動状況

米山第四自治会

自治会長 阿部 篤義

去る4月24日の総会は、役員及び班長・組長35名出席の下で無事終了いたしました。当自治会内には、430世帯と800余人の住民が生活しています。内、高齢者が152名、1歳から17歳の子供達は91名とバランスのとれた構成になっています。事業としては次の活動をしています。

☆防犯・防火部会

二年前に地内の全街灯を明るいうるLEDに切り替えました。又ここ数年自治会での火災発生は一件もありません。

☆衛生部会

毎年春と秋の二回自治会の一斉清掃の実施、また蚊駆除雨水桝対策事業への参加や亀田郷の背割り排水路のドロ処理等多岐にわたる活動を実施しております。この継続が平成26年度新潟市住みよい郷土推進協議会より優良組織団体として市長より感謝状を授与されました。これも常日頃の自治会員の方々のご協力によるものと感謝しております。

☆婦人部会

春には「動く市政教室」を催し会員相互の親睦を深めるべく実施しております。

☆育成部会

6月には恒例の「サントピアワールド・宝珠温泉の旅」を行い、毎年若男女百名以上の参加を得て盛会を極めていきます。夏休み中は朝のラジオ体操を実施、笹口交番署員の交通事故防止、また防犯の話聞く機会をもっています。

秋には毎年自治会員有志による一泊旅行を催し、有意義な活動を行っています。11月には高齢者を対象に米山寿会会員と一緒に交通安全教室を開催するなどして、一人でも交通事故にあわない配慮をしております。



動く市政教室

27年度活動計画

専門部活動

交通安全全部会

交通安全全部会として

部長 阿部 篤義

紫竹山小学校の子どもの登下校に際し、セフティスタッフの皆さんはじめ各自治会の育成部員の街頭指導努力によって、交通事故が非常に少なくなりました。今年度も学校側及び地域の皆さんのご協力のもと、事故ゼロを目標に頑張りたいと思います。

平成27年度の交通事故防止運動の重点目標は次の五点です。

- ① 子供と高齢者の交通事故防止
- ② 自転車の安全利用の推進
- ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶
- ⑤ 横断歩行者の保護

快適な交通社会を実現するために、一人一人が交通マナーを遵守しなければなりません。

交通安全、これは国民すべての心からの願いです。



しかし依然として多数の人々が交通事故により尊い命を失い、また傷ついています。快適な交通社会を実現するために地域住民の皆々様と一緒に交通安全・事故ゼロの目標に向かって邁進したいと思います。

防災防犯部会

防災意識の向上を図って

部長 中村 昌雄

26年度より部長になりました。昨年度は、紫竹山小学校PTAとコラボして、防災訓練を行うことができました。今年度も同様の訓練をより、リアリティ（実際に近い形で）のある状態で実施し、校区内他の団体と協力して行う予定です。

また、避難場所案内板を設置し、設置設所マップも作成する予定です。この2つの事業を中心に校区の防災意識の向上を図って行きたいと思っています。

今年度より、部会名を「防火防犯」から「防災防犯」に改めました。より広く災害を考

えて行きます。

また、駅南コミセンターの町づくりセンター内を事務所といたしました。



上所コミ協の例(赤丸の部分に案内板)



昨年の健康教室



イメージです。

健康福祉部会

老いは平等にやってくる

部長 丸山 保

健康福祉部会では10月下旬に、無理なく笑う「笑いヨガ」を開催します。

笑いヨガは、笑いの体操とヨガの呼吸法を組み合わせた運動です。「笑い」が身体に良いことはよく知られています。またコミュニケーションの潤滑油としても、人間関係をよくしてくれれます。何より笑っていると、気分がよくなり元気になります。

誰でもできる笑いヨガは、ユーモアセンスもお金もいりません。また、どこでも気分に関係なく笑える心と身体に効く、笑いヨガ。ぜひこの機会にお友達を誘ってお出かけください。お待ちしております。

青少年育成部会

紫竹山小学校区での活動

部長 西野 真一

はじめまして、今年度より紫竹山小学校PTA会長を拝命した西野と申します。当校は駅南地区という繁華街を含む地域にもかかわらず、昨年度より不審者情報や大きな交通事故の報告も無く、安心している所があります。これも地域の皆様のおかげと感謝しております。

本年度の紫竹山小学校区での活動は、宮浦中学校区青少年育成協議会、各自治会協賛で蒲原まつりでの「巡視」「新潟まつりの前に行われる「クリン作戦」、青少年の非行防止を呼びかける「年末街頭キャンペーン」などを予定しております。

今年度も

ほぼ例年通りの行事になると思いますが、各自治会と協力して活動して行こうと思っておりますのでよろしくお願いたします。



会計報告

平成26年度決算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

科目	予算額	決算額	内 訳
前年度繰越金	3,479,831	3,479,831	
自治会分担金	486,100	475,100	100円×4,751世帯
社会福祉協議会活動助成金	200,000	256,985	
コミ協運営助成金	200,000	200,000	
コミ協部会・研修会参加費	100,000	113,000	
古紙回収助成金	300,000	357,990	4回分
雑収入	10,000	386,830	預金利息・補助金等
合 計	4,775,931	5,269,736	

科目	予算額	決算額	内 訳
総会・役員会等会議費・交通費	350,000	192,529	総会・編集会議・交通費・会長活動費
防火防犯連合会活動助成費	250,000	476,929	
交通安全推進協・活動助成費	80,000	100,000	交通安全部会
総会・研修会等助成費	250,000	465,593	総会、研修会は2回分
事務費	100,000	80,000	
消防団助成費	72,915	100,000	15円×4,844世帯
コミ協代表者会議参加費	50,000	-	会長活動費より支出
紫竹山小後援会助成費	25,000	-	
各部会活動費	200,000	45,815	
印刷費・雑費	170,000	333,027	「むらさき」3,4号発行
予備費	3,228,016	3,475,843	
合 計	4,775,931	5,269,736	

平成27年度予算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

科目	前年度決算額	予算額	内 訳
前年度繰越金	3,479,831	3,475,843	
自治会分担金	475,100	475,100	100円×4,751世帯
社会福祉協議会活動助成金	256,985	200,000	
コミ協運営助成金	200,000	500,000	
地域活動補助金	-	200,000	
コミ協部会・研修会参加費	113,000	150,000	
古紙回収助成金	357,990	300,000	4回分
雑収入	386,830	10,000	預金利息等
合 計	5,269,736	5,310,943	

科目	前年度決算額	予算額	内 訳
総会・役員会等会議費・交通費	192,529	200,000	諸会議交通費、雑費、会長活動費
防火防犯連合会活動費	476,929	300,000	
交通安全推進協・活動助成費	100,000	100,000	交通安全部会
総会・研修会等助成費	465,593	250,000	総会、研修会
事務費	80,000	100,000	
消防団助成費	100,000	100,000	
コミ協代表者会議参加費	-	50,000	
各部活動費	45,815	200,000	
印刷費・雑費	333,027	270,000	「むらさき」発行
街灯ポール撤去費用	-	350,000	
予備費	3,475,843	3,390,943	
合 計	5,269,736	5,310,943	

防災に関する記事

中央区避難所運営体制検討会

部会長 中村 昌雄

27年2月25日白山会館で、表記の会議が行われ、石口会長はじめ10名の方に参加していただきました。
 ・中越防災安全推進機構の方より、中越地震の経験を通じて避難所運営のいろいろな事例の説明がありました。
 ・避難所運営のシミュレーションで、起こるであろう問題を皆で解決すべく、話し合いました。



研修風景
白山会館にて
(紫竹山小学校
検討グループ)



研修風景
白山会館にて
(駅南コミセン
検討グループ)



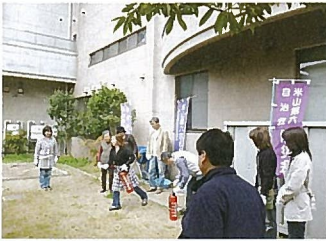
研修風景
白山会館にて
(北越高等学校
検討グループ)

米山第六自治会防災会の防火訓練

27年4月19日、25日駅南コミセンで、2回(役員会、住民)に渡り、防火訓練が行われました。

米山第六自治会防災会が、紫竹山校区自主防災組織の唯一の組織です。12自治会中のひとつです。

今回が記念すべき第一回目の防火訓練です。防災防犯部会としては、今後も米山第六自治会防災会をサポートし、運営ノウハウの蓄積により、今後の自治会防災組織設立、運営をサポートして行きます。



防災会
役員防火研修



住民対象の
防火訓練

駅南コミセンは 今年開館二十年

趣味の会や健康保持のための運動等、たくさんさんのグループが集う駅南コミセンは、開館当初から利用者が大変多くあり、開くところによれば、近隣の同じような施設の中でも利用率はトップクラスなのだそう。これは駅南の人たちの活動が盛んなことを証明しているようなものです。

その駅南コミセンセンターが今年で開館二十年目を迎えます。

節目にあたるということ、今年には記念式典等の行事も予定されています。場所も米山四丁目という紫竹山校区のほぼ真ん中に設置されている施設で、地域の人たちの大事な集いの場であり活動の場になっています。

また、地域住民の緊急の避難場所にも指定されています。これからも有効に、そして大切に利用していきたいものです。



緊急時の避難場所を 決めておきましょう

指定されている避難場所には災害時に、食料・飲料水・毛布などが届けられません。緊急時にはどこへ避難するかを家族で話し合っておきましょう。

指定避難場所は次の三カ所のみです。

- 紫竹山小学校
- 駅南コミセン
- 北越高等学校



編集後記

・差し込みページ(3、4頁)を追加しました。このページのみ駅南コミセンに置いてあります。見える場所に貼る等してご利用ください。何かの時に役立つと思います。
 ・校区内の活動の模様及び「地域の宝」という内容(人、場所、物、自薦、他薦を問わず、募集いたします。今後、出来るだけ紹介するよう努めて参ります。
 また、会員に紹介したい記事がありましたら、編集部へお寄せください。

編集委員 中村昌雄、清治のり子、阿部敏明、濱田宏幸、

中野正一、三國あつみの6名です。

(4月25日時点)